



新図書館建設などに
86億円余の債務負担行為補正 ……2P
12月定例会一般質問 10人が登壇 ……4P
委員会報告 ……9P
市民の声 ……12P

時空の街 悠久の時を越えて咲く椿“ののいち” 中央公園

こんにちは
野々市市議会です

議会だより

4号

2015年(平成27年)

86億1千万円の債務負担行為補正を可決



野々市市議会議長
平野 政昭

昨年は議会だよりの発行や議員定数の削減など議会改革を進めることができました。市民の皆様のご支援に議会を代表して感謝申し上げます。今後とも「地方自治の仕組みは、ただひとえに住民の皆様のためにある」ということを胸に刻み議員一同全力を尽くす覚悟でございます。



12月議会で審査された案件

■全会一致で議決された議案

議案名	議決結果
議案第62号 専決処分（平成26年度野々市市一般会計補正予算第3号）の承認について	承認
議案第64号 平成26年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案第65号 平成26年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案第66号 平成26年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第67号 平成26年度野々市市下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案第68号 平成26年度野々市市水道事業会計補正予算（第1号）について	可決
議案第69号 野々市市市制条例の一部を改正する条例について	可決
議案第70号 野々市市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	可決
議案第71号 野々市市職員定数条例の一部を改正する条例について	可決
議案第75号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第76号 野々市市郷土資料館条例の一部を改正する条例について	可決
議案第77号 野々市市ふるさと歴史館条例の一部を改正する条例について	可決
議案第78号 野々市市体育施設条例の一部を改正する条例について	可決
議案第79号 野々市市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第80号 野々市市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決
議案第81号 野々市市交通舎条例の一部を改正する条例について	可決
議案第82号 野々市市北口プラザ条例の一部を改正する条例について	可決
議案第83号 野々市市自転車駐車場条例の一部を改正する条例について	可決
議案第84号 野々市市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第85号 野々市市まちづくり基本条例について	可決
議案第86号 市道路線の廃止について	可決
議案第87号 市道路線の認定について	可決
諮問第5号 人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	適任

■意見が分かれた議案

○=賛成、×=反対、欠=欠席

議案名	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	川哲郎	早川彰一	尾西雅代	平野政昭	土田友雄	西田浩夫	大東和美	田中昭一	北村成人	岩見博	議決結果
議案第63号 平成26年度野々市市一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第72号 野々市市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第73号 野々市市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第74号 野々市市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
請願第6号 「消費税10%増税を中止する意見書」採択を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第7号 「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく立法化を行わないことを求める意見書」採択を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
議会議案第7号 野々市市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

議長は採決に加わりません

平成26年度12月定例会を12月3日から19日までの17日間の日程で開会し、新市立図書館建設と中央公民館を核とした地域中心交流拠点施設の一体的整備をPFI事業として行うための86億1千万円の債務負担行為補正を計上した平成26年度一般会計補正予算案を賛成多数で可決しました。債務負担行為は、これらの事業を行うために設立

される特別目的会社（SPC）に、平成27年度から平成40年度までの14年間にわたって施設の建設費や管理・運営費として支出する限度額を定めたものです。

これまでに野々市小学校、学校給食センターをPFI事業で行っていて、今回の事業が3件目となります。

議員定数1名削減 16名 → 15名に 4月の市議選から

定例会では、市長提出の平成26年度各会計補正予算をはじめとする議案26件を全会一致ないしは賛成多数で可決・承認し、人事案件の人権擁護委員会委員について全会一致で承認しました。

また、議員定数を現行の16名から1名減らして15名とする議会議案1件を賛成多数で可決しました。定数減は今年4月26日に任期満了を迎える市議会議員選挙から適用されます。その他、「消費税10%増税を中止する意見書採択を求める請願書」をはじめ、請願2件を賛成少数で不採択としました。

人事（全員賛成）
▼人権擁護委員会委員
西野沙知子（67歳） 押越一丁目

市民・議会・行政による協働のまちづくりを推進

定例会で、市長提出の「野々市まちづくり基本条例」を全員一致で可決しました。

条例は、「まちづくりの担い手である市民、議会及び行政それぞれの役割及び責務を明らかにするとともに、協働によるまちづくりを推進すること」を目的としています。

議会の役割及び責務について、①市民の意思を市政に反映させるよう努める。②行政に対する監視機能としての役割を果たす。③本市の意思決定の内容及び過程並びに市政の課題を分かりやすく説明するとともに、開かれた議会の運営を行う。④積極的にまちづくりの課題及び市民の意見を把握するとともに、公正かつ誠実に職務を行うとされています。



大東 和美 議員

野々市市にもビジネス相談所の開設を

すでに県、市の商工会で対応しておりPRに努めたい

【質問】 愛知県岡崎市のよろず相談所の人気の理由は、コストカットのような課題を指摘するのではなく、当事者も気づいていない、埋もれている強みを発掘し、徹底して全に出していくアプローチにある。野々市市で開催するには、どのような課題があると考えられるのか伺う。

のっティのバス停に屋根の設置を

【産業建設部長】 経済産業省では、平成26年6月から各都道府県に1か所ずつ地域の支援機関と連携しながら中小企業・小規模事業者がかかえるさまざまな経営相談に対応するよう支援拠点を整備している。すでに、県内では公益社団法人石川県産業創出支援機構、経営支援部門内に石川県よろず支援拠点があり、また、

【質問】 屋根や風除室のあるバス停があるが、こうしたバス停はどのような条件で設置されているのか伺う。

【総務部長】 市内の交通結節点となっているJR野々市駅、フォルテ、市役所については、屋根やベンチ、トイレ等のバス



のっティバス停 三納地内

待ち環境を整備している。公共施設以外のバス停は、付近の事業所の好意により、敷地内に屋根つきの待合場所やベンチを設置している。のっティのバス停は、歩道の幅員の問題、バス停のスペースの確保など、屋根の設置は一体となつて検討する必要がある、細い道を走るでの設置は難しい。

栗市長の次期市長選挙での3選出馬の意思について伺う

市民協働の取り組みを見届け引き続き市政の先頭に立ちたい



杉林 敏 議員

【質問】 夢のある野々市市の未来に向けた次期市長選挙での3選出馬の意思について伺う。

【市長】 今までの取り組みの将来をこの目で見届け、さらに発展させたい。市民協会の支援や理解が得られれば、引き続き先頭に立ちたい。

自動体外式除細動器(AED)について

【質問】 市内には72カ所の施設にAEDが設置されていると市のホームページに公表されているが、公開情報に不備はないのか。

【健康福祉部長】 民間事業者の協力により、なるべく早く調査しホームページ情報を更新したい。新たにAEDを設置された場合は、ホームページを通じて設置状況の報告が可能になるようするなど広報等を通じて呼びかけていく。

市民の投票促進について

【質問】 投票所の見直しは投票に来ない有権者に投票機会を与える効果があると考えるが、市内の投票所と期日前投票所の場所などを見直す考えは。

【総務部長】 投票所については投票区内の人口増減や指定施設の設置場所を考慮し、今後見直しも必要と考えている。期日前投票所

については費用対効果や指定施設の使用状況等からみて、見直す考えはない。

【市民生活部長】 平成25年度より自主防災組織の活動を支援するために防災資材の補助を行なっている。補助制度を活用しAEDを整備した町内会はないが、この制度を有効に活用してほしい。

【質問】 24時間オープンな場所である市内のコンビニとのAED設置に関する協定を結ぶことで、24時間体制で利用可能になるのではないか。

【健康福祉部長】 24時間AEDが利用できる環境づくりを整備するために、関係機関と情報を交換し、さらに研究を重ねていく。

野々市市の災害対策の現状は

様々な取り組みを行っている



川 哲郎 議員

【質問】 この一年の間に、日本各地で、台風・記録的豪雨とそれらに伴う土砂災害、地震・噴火等さまざま自然災害や二次的被害に見舞われている。わが市の災害に対する見識・施策と、自宅避難所や循環備蓄の推奨・周知・啓発はどう行っていくのか。

【健康福祉部長】 現在、所定の要件に該当する方の申請により、災害時要援護者台帳に登録し、その情報を社会福祉協議会、民生委員、児童委員、野々市消防署及び、自主防災組織などに提供している。登録状況については、平成25年度末

現在対象者3482名のうち、2406名が登録している。新たに対象となる方には、制度の趣旨を伝えると共に登録の為の書類を郵送している。

【質問】 コミュニティの変化に伴う市民間の共助体制について、積極的な繋がり構築を補助するような施策はあるか。

【市民生活部長】 地域防災計画や訓練等に反映できるように検討していきたい。また、富奥防災コミュニティセンターの展示スペースや、市のホームページなどを活用しその重要性の周知を図っていききたい。

【質問】 個人情報保護とされるものがあるのであれば、なおさら、行政の仲介的な役割・働きかけが必要になってくると考える。要介護者・要支援者・特定高齢者の把握と対応はいま現在どのようになっているか。

【市民生活部長】 防災ハンドブックを4月に全戸配布の予定である。また、地域の要件に該当する方の支え合いマップ作成を町内会に呼び掛けている。

【原発問題について】

【質問】 市として、脱原発を宣言する考えはないのか。

【市長】 原発に関しては、国の指針に準ずる。その考えは無い。



これからのまちづくりと市民協働

新たな目標人口に適合した検討に入る



北村 成人 議員

【質問】 現在の実人口が総合計画の目標人口を大幅に上回っているが施策見直しの考えはないか。

【市長】 来年度から新たな目標人口に適合した施策の本格的な検討に入る。

【質問】 市民協働を推進するためには市民の心に寄り添う気持ちが肝要と思うがどうか。

【市長】 市政の役割は住民が活躍できる舞台づくりだ。市に誇りや愛着を持ってもらえる心を込めた取り組みを進めたい。

【質問】 現在の実人口が総合計画の目標人口を大幅に上回っているが施策見直しの考えはないか。

【市長】 来年度から新たな目標人口に適合した施策の本格的な検討に入る。



造成中の調整池機能をもつ北西部地区公園

【質問】 市民協働を推進するためには市民の心に寄り添う気持ちが肝要と思うがどうか。

【市長】 市民協働を推進するためには市民の心に寄り添う気持ちを込めた取り組みを進めたい。



金村 哲夫 議員

Q 防火水槽の設置状況は

A 町内会などから要望があれば検討したい

質問 最低限の消火活動に必要な水量を地中にたくわえておく為の防火水槽設置計画を問う。

新たな柱穴の確認を行い、塀か門の存在を明らかにする。寺院中心部の規模を把握したい。

市民生活部長 今のところ、新設の計画はないが、町内会などから要望を受けた場合は検討していきたい。

全国椿サミット野々市大会開催

質問 全国から椿愛好者が集まり、椿まつりも開催されますが、本市としてどのような「おもてなし」を考えているのか。

末松廃寺跡の発掘調査計画は

市長 来年度、中央公園の中に多数の品種のツバキを鉢物で楽しむことができ、鑑賞展示施設やツバキの育成施設を整備したいと考えている。また、園内の築山にツバキを植え、園路を設けて散策ができるようにリニューアルしたいと考えている。



末松廃寺跡 末松地内

その他の質問

質問 再整備に向けて発掘調査（平成二十六年～二十九年）を進めているが、今後の整備計画を問う。
・第一次総合計画の見直しについて問う。

質問 椿は市の花木で、シンボルでもあるため市民

・国営手取川流域農業水利事業計画について問う。
・微小粒子状物質（PM 0.5）対策について問う。

質問 旧北国街道周辺の町並み保存条例策定に対す

中央地区整備事業における側面的施策を

質問 都市型水害予防の雨水対策による水路、側溝の整備計画を示せ。
産業建設部長 下水道事業の雨水幹線整備は、順次進めており、その他の水路についても雨水整備計画と照らし合わせ、整備の必要性を検討する。

質問 旧北国街道沿いの旧町名の復活や、活用の考え方を聞く。



北国街道 本町通り

Q 防災都市野々市を目指せ

A 産学官民の連携による災害に強いまちづくりに努めたい

質問 金沢工業大学との連携の充実を図り、安全安心な防災都市を確立し企業誘致や定住促進を目指せ。

る考え方、方向性を問う。
市長 地域住民の歴史的町並み保存や再生の必要性の共通認識が重要であり、住民の方々の機運の高まりを見極めたうえで検討すべきと考える。

市長 産学官民が連携し、災害に強いまちづくりに努め、結果として定住促進や企業誘致につなげたい。

質問 他の旧北国街道沿い市町村との連携を問う。
市長 市内外に旧北国街道をアピールすると共に、広域での連携についても取り組んでいきたい。

質問 旧北国街道沿いの旧町名の復活や、活用の考え方を聞く。

市長 旧町名においては、そのような気運の高まりは、感じられないが、ま

市長 市内外に旧北国街道をアピールすると共に、広域での連携についても取り組んでいきたい。

は、そのような気運の高まりは、感じられないが、ま



西本 政之 議員

Q 休日当番医の対応を午後まで拡充せよ

A 医師会側に相談していききたい

質問 休日の午前中のみとなつている当番医の診療時間を、午後まで拡充するように医師会に対して要請せよ。

市長 医師の過重な負担を招かずに協力を得られる方策について、引き続き機会を捉えて医師会側に相談していききたい。

簿の作成は校長の権限である。校長権限とされている事項について、教育委員会がいたずらに介入することは望ましくないと考えている。中学校長からは、来年度の混合名簿の採用について前向きに考えたいということも聞いていますので、尊重していききたいと考えています。

総務部長

市民に身近な現在の形が必ずしも完成形とは考えていない。新たな土地区画整理事業や開発行為等の進捗にあわせた対応や、その他さまざまな要望を考慮する中で、ルートの新設や整理、バス停の新設、便数の増減など大きな見直しを含め、費用や運行条件なども加味しながら、地域公共交通協議会において検討していききたい。

市立中学校の名簿について

「50分タイ」の運行ルートについて

質問 市内の小学校5校と、市内の県立高等学校は男女混合名簿を採用しているが、市内の中学校は男女分離名簿を採用している。

質問 乗車する停留所によって、結節点である市役所やフォルテまでの時間がかかりすぎる場合があることから、逆回りのルートも運行して欲しいという声

が、市内の中学校は男女分離名簿を採用している。男女平等や男女共同参画の機運が高まる中、市立中学校においても男女混合名簿を採用すべきと考える。

学校の6ルートに細分化してほ



土田 友雄 議員

Q 教師にゆとりある教育環境を

A 地域の大人が協力できる方法を考える

質問 当市は全国でも類のない人口自然増の街である。教育環境を整えることは大変重要である。松野教育委員長に就任の抱負と考えを問う。

教育委員長

学校現場へ足を運び、教職員と触れ合い現状や悩みを聞くとともに市民の教育に対する声や思いを汲み取っていききたい。

質問 教師は多忙で生徒と向き合う時間が足りないと聞くと、心身疾患も多いと聞くと、教育環境改善には地域の協力が必要だと思ふ。現在の状況と今後の取り組みについて問う。

教育長 教職員の多忙化に対して教育支援員の配置や大学生による学習支援を行っている。今後とも地域



ケンパの敷石 豊後高田市

健康づくりを

遊歩道、公園を活用した健康づくりを

健康づくりを

新しい健康づくりを提案していききたい。

市長 国や県にとらわれず、野々市はこう考えているといった独自の特色あるまちづくりを近隣の自治体と協力しながら進めて行きたい。かつて加賀の中心として栄えた野々市の誇りを取り戻すことを目指し、来期の市政運営に取り組む決意である。

わたり検証した結果、大きな評価となりました。健康に留意し市民の期待をしっかりと受けとめ来期の市政の抱負と決意を聞く。



議員 岩見 博

Q 知事答弁を受け、子ども医療費の窓口無料化の実施を

A 現物給付については県や近隣市町の取り組みを見ながら検討したい

質問 9月県議会において知事は、市町が判断すれば「現物給付方式」への変更を認める答弁をしている。市として、4月から千円負担のない窓口無料化の実施、高校卒業まで助成対象を拡大する考えはないか。

健康福祉部長 国が示す区分をもとにさらにきめ細かい階層設定をしたいと考えている。現行水準を基本として利用者の負担に大きな影響が出ないように考慮したい。

富陽小通学路にガードレールの設置を

市長 受益者負担の考えから、千円負担のない窓口無料化、18歳までの対象年齢拡大の考えはない。現物給付については県や近隣市町の取り組みを見ながら検討したい。

質問 私がやっている市民アンケートに、「富陽小学校の通学路にガードレールを付けてください。歩道が狭く、子どもが車道に出たりして事故にあわないか心配」との要望が寄せられている。早急に対策を講じているか。

教育文化部長 藤平交差点から富陽小学校までの通学路については、ふじひら保育園の裏側を通る農道を

市長 市による直接臨時職員雇用、人材派遣契約業務委託契約など、業務内容に応じて契約・雇用の形態を選択することによって問題の解決ができるのではないかと。また、個人情報保護の対策を十分に講じられるかどうか、検討していかなければならない。

市長 市による直接臨時職員雇用、人材派遣契約業務委託契約など、業務内容に応じて契約・雇用の形態を選択することによって問題の解決ができるのではないかと。また、個人情報保護の対策を十分に講じられるかどうか、検討していかなければならない。

市長 市による直接臨時職員雇用、人材派遣契約業務委託契約など、業務内容に応じて契約・雇用の形態を選択することによって問題の解決ができるのではないかと。また、個人情報保護の対策を十分に講じられるかどうか、検討していかなければならない。



議員 早川 彰一

Q これからの土地区画整理事業と街づくりは

A 10年をめどに着実に進める

蓮花寺、田尻、堀内土地区画整理事業について

質問 当地区は国道8号線に近く、周辺には各種産業や医療、福祉施設も多く存在しその立地の良さからさらに企業進出が見込める。そのためにも道路整備が重要である。関係する都市計画道路高尾堀内線及び三納下林線の延伸路線の整備時期はいづごろか。

市長 市は金沢工業大学区画整理と密接な関係がある。いつ整備するのか。や県立大学、金沢大学の学生や市民の皆さんにもカメラ事業は10年を基本とし、想定人口は9300人として、中央公園も防災拠点としての機能強化や運動施設の拡充などで2倍程度に拡充する。予算の付き具合等々も関係するので明確に

市長 市は金沢工業大学区画整理と密接な関係がある。いつ整備するのか。や県立大学、金沢大学の学生や市民の皆さんにもカメラ事業は10年を基本とし、想定人口は9300人として、中央公園も防災拠点としての機能強化や運動施設の拡充などで2倍程度に拡充する。予算の付き具合等々も関係するので明確に

市長 市は金沢工業大学区画整理と密接な関係がある。いつ整備するのか。や県立大学、金沢大学の学生や市民の皆さんにもカメラ事業は10年を基本とし、想定人口は9300人として、中央公園も防災拠点としての機能強化や運動施設の拡充などで2倍程度に拡充する。予算の付き具合等々も関係するので明確に

市長 市は金沢工業大学区画整理と密接な関係がある。いつ整備するのか。や県立大学、金沢大学の学生や市民の皆さんにもカメラ事業は10年を基本とし、想定人口は9300人として、中央公園も防災拠点としての機能強化や運動施設の拡充などで2倍程度に拡充する。予算の付き具合等々も関係するので明確に



桜の名所 せせらぎ公園

総務常任委員会

野々市市第一次総合計画第三次実施計画(案)

企画課から、総合計画審議会が10月29日(水)に開かれ、第三次実施計画(案)について平成27年度から平成29年度の三カ年で環境分野や産業振興など重点的に推進することが了承されたと報告がありました。

防災無線の進捗状況

環境安全課から、11月中旬より市内28カ所設置中の災害時の無線通信システムは平成27年1月上旬に完成を予定しており、試験放送については1月中旬から2月中旬にかけて実施すると説明があり

まちづくり基本条例

市民協働課から、まちづくり基本条例(案)のパブリックコメントをまとめ、修正案を議会に提出すると説明がありました。

委員会審査

- | | |
|------|-------------|
| 委員長 | 金村 哲夫 |
| 副委員長 | 尾西 雅代 |
| 委員 | 西本 政之・中村 義彦 |
| | 土田 友雄・西田 治夫 |
| | 田中 昭一・岩見 博 |

ました。

災害情報伝達システムの早い構築が望まれます。

「野々市市ふるさと交流会 in 東京」開催

11月29日(土)に東京・平河町の「都市センターホテル」で開かれた交流会に東京野々市会の会員をはじめ野々市にゆかりのある多くの方々に参加されました。今後もふるさと応援団として交流の輪をさらに広げていきたいと思っております。



ふるさと交流会 in 東京の様子

健康福祉常任委員会

小規模多機能型居宅介護事業所 4月開設

▼介護長寿課より小規模多機能型居宅介護事業所(新庄) 4月開設予定。サービス付高齢者向け住宅については、当初予定の3階35室から平屋建て14室に変更されたとの報告がありました。

出産育児一時金 引き上げ

▼保険年金課より「産科医療補償制度・出産育児一時金の見直し」について報告がありました。平成21年度開始の産科医療補償制度の補償対象件数が当初の見込みを下

委員会審査

- | | |
|------|------------|
| 委員長 | 杉林 敏 |
| 副委員長 | 早川 彰一 |
| 委員 | 金村 哲夫・辻 信行 |
| | 川 哲郎・大東 和美 |
| | 北村 成人 |

▼子育てあんしん課より美郷保育園(郷町)平成27年1月竣工・4月開園予定。ほのみ保育園(新庄)平成27年2月竣工・4月開園予定。つばき保育園(太平寺)平成26年12月改築開園の報告がありました。



コンビ健診の結果

▼健康推進課より「コンビ健診の結果」について報告がありました。若年者健診(18~39歳)は34名、特定健診(40~74歳)は8名、合計42名が受診されました。地区別では、本町地区:10名、富奥地区:9名、郷地区:14名、押野地区:9名でした。初受診者は30名で新規受診者の開拓に繋がりました。

白山野々市広域事務組合議会

12月24日開催の臨時会において、条例改正1件と議案4件が提出され、いずれも全員一致で可決されました。

内容は整備を進めている消防救急デジタル無線に関するもので無線局舎と設備の請負契約、無線中継車の購入についてです。また懸案の一般ごみ焼却灰の埋め立て地が白山市小川町に決定したとの報告がありました。

広域事務組合議会臨時会



記念演奏会の様子

11月30日白山市総合文化会館「クレイン」において盛大に開催されました。

**白山野々市広域事務組合
消防音楽隊結成30周年記
念演奏会開催**



美川消防署 外観

白山消防署は山岳地域での災害や遭難救助に対応できるよう機能強化されています。

美川消防署は北陸自動車道美川インターチェンジに隣接することから高速道路事故に対応、また海岸に接しており津波発生時庁舎屋上に500人程度が避難できるような構造を備えています。

**白山消防署 (12月1日)
美川消防署 (12月23日)
新庁舎完成**

副議長 土田 友雄
議長 辻 信行・早川 彰一
事務局：白山野々市広域消防本部内
076127419585

産業建設常任委員会

委員会審査

野々市市 観光物産協会設立

産業建設課長から観光物産協会設立の説明がありました。本市における観光事業の振興と地域物産の販売促進を図り、産業経済の発展及び市民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

観光分野については、国指定史跡である御経塚遺跡や末松廃寺跡などの多くの歴史的遺産及び野々市市よんからまつりなどを代表するイベント等の地域資源を活用することと合わせ、野々市に訪れたいと思うような観光ビジョンの策定を検討し推進します。

一方、物産分野においては、まだまだ多くの特産品等の開発が肝要であり、開発の促進にあたっては市特産品認定制度など、新たな制度の策定や販路拡大等を図ることができると考え、生産者等が新たな特産品等の開発に意欲を持つことができる環境作りを行います。

委員長 西本 政之
副委員長 川 哲郎
委員 杉林 敏・尾西 雅代
北村 成人・岩見 博

その他、平成26年度の除雪計画の報告や、下林、中林で発生した火災について報告がありました。どちらも電気プラグが原因ということでした。これを尊い教訓として、各家庭で今一度点検をしていただき「火の用心」に心がけていただきたいと思います。また、消防の皆さんの活躍のおかげで、大きな延焼につながらなかったことに感謝いたします。



観光物産協会設立総会の様子

教育文化常任委員会

委員会審査

野々市中央地区 土地利用について

野々市中央地区利用の目的は、図書館移転、中央公民館立て替えを行い、文化交流拠点と地域交流拠点を形成し、二つの拠点の間に位置する、旧北国街道の賑わい創出を目的に平成26年度から平成30年度までの5年間の間に、両地区の整備を行います。



現在の中央公民館

旧県立養護学校跡地に 新しい図書館を建設

太平寺の旧県立養護学校跡地に新しい図書館を整備し、既存の図書館を移転及び中央公民館機能の一次的受け入れを行い、既存の図書館、中央公民館を解体撤去した場所に地域交流拠点を整備し、中央公民館と市民連携拠点及び民間商業施設を兼ね備えた複合施設の運営をPFI事業の活用により行うとの報告がありました。



現在の市立図書館

委員長 中村 義彦
副委員長 早川 彰一・土田 友雄
委員 西田 治夫・大東 和美
田中 昭一

3月定例会の日程決まる

▼期間

3月2日(月) 20日(金) までの19日間

▼開会日

3月2日(月) 午前10時

▼一般質問

3月9日(月) 午前9時30分

3月10日(火) 午前9時30分

一般質問者数により3月9日、1日間のみ

▼予算特別委員会

3月11日(水) 午前9時30分

3月12日(木) 午前9時30分

▼各常任委員会

3月16日(月) 総務、教育文化

3月17日(火) 健康福祉、産業建設

▼閉会日

3月20日(金) 午後2時

定例会傍聴者アンケートより

昨年12月から定例会を傍聴していただいた方へのアンケートを実施したところ22件の感想やご指摘をいただきました。議会運営委員会での指摘事項を分析し、以下の2点について次回の3月定例会から対応することにしました。

- ①質問者と答弁者の席次表を傍聴人に配布する。
- ②一般質問通告書の質問番号を統一させる。

今年は市長選挙と市議会議員選挙があります。
政治家が選挙区内の行事や催物に寸志や飲食物を差し入れたり、
有権者が受け取ったり、求めることも固く禁止されています。
処罰されると公民権停止の対象となります。



子どもが保育園の時は自分が送り迎えをして見守り隊の方が夕方、佐那武神社に立って「お帰り!」と声をかけてくださり、娘も同じように元気な声で「ただいま!」と返事をして帰宅していました。当時は見守り隊の方が夕方に立っているとしか思っていなかったのですが、子供会の役員と

子どもの見守り隊と元気なあいさつ

伊藤 留美子さん(御経塚一丁目)

なって実際分かったことは、低学年と高学年の帰宅の時間が違うので、低学年を一度見守りした後自宅に戻り、息つく間もなくまた高学年の帰宅時間に通学路に立って見守ってくださっています。それも一週間毎日です。雪が降る日も見守り隊の方は子どもたち全員の顔を覚えてみんなが帰るまでずっと待っていてくれます。子どもたちが安全に学校から

帰って来れるのは当たり前のことではなく、見守り隊の方のおかげだということをおうち親が自覚し、せめて子どもたちが元気にあいさつするよう家庭で教えていきたいと思えます。そして、見守り隊の方が毎日元気で立っていただけるのは、住み良い御経塚のまち、野々市市だからだと思います。

議員の皆さまには、子どもたちがもっと健やかに暮らせるように、白山市のような素晴らしい総合スポーツ施設を造っていただきたいと思えます。期待しています。



野々市に「住んで良かった」と実感する毎日

坂井 裕子さん(下林三丁目)

私は結婚して野々市に住んで早23年がたちました。

主人の接骨院を手伝いながら今日に至っております。当時は閑静で住みよい環境でしたが、ちょっと不便も感じておりました。それがこの十数年の間にこんな狭い市でありながら人口増加に伴い、たくさんのお店や病院、保育園、ア

パートなどが増え外国人の方もよく見かけるようになりました。

住みよい街とは一時期の利便性だけで判断するのではなく長い年月を通して「住んで良かった」と思えることが本当の意味での住みやすさにつながって行くのではないのでしょうか。

議員の皆さまには大変なご苦勞



もおありかと思えますが、よりよい街づくりのために頑張っていたきたいです。

私は今この街に「住んで良かった」と実感している毎日です。



編集後記

○川 哲郎

毎号試行錯誤の繰り返しですが市民の皆さんにどう受け止められているのか気になるところです。編集委員一同、これからも市民のみなさんに少しでも議会の事に興味を持ってもらえるようにがんばって行きたいと思えます。市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。

編集委員会

- 委員長 早川 彰一
- 副委員長 大東 和美
- 委員 辻 信行、川 哲郎
- 土田 友雄、岩見 博

表紙説明

中央公園の遊歩道脇で、冬の雲の切れ間から漏れる陽に当たり可憐に咲く椿ののいち。

市民の皆さまに、様々な種類の椿が咲く中央公園をぜひ散策していただきたいと思えます。

